

徳富蘆花氏ら三人

水俣市の名誉市民に

水俣市臨時議会は二十五日、名
氏になった。

譽市民に徳富健次郎(蘆花)、深水
吉毅、橋本彦七の三氏を決めた。

同市はこれまで二十八年に決めた
徳富蘇峰ひとりだったがこれで四

氏になった。

徳富健次郎氏は明治元年水俣で
生まれ、國民新聞に「不如帰」を

連載、明治三十三年には「自然と
人生」を発売、猪一郎(蘇峰)の

実弟、昭和二年六十歳で没。

深水吉毅氏は昭和十年から十一
年間、水俣町長、その間県議、衆

議院議員に当選、二十七年六十四
歳で没した。水俣発展の基礎を築
いた。

橋本彦七氏は昭和十三年日窒水
俣工場長、二十五年から四期市長
をつとめた。現在市立病院に入院
中、七十七歳。



故徳富蘆花氏



故深水吉毅氏



橋本彦七氏